

大学生の生活実態に関するアンケート調査 概要

このアンケート調査は、全道の大学に通う全学生を対象に実施しており、みなさんに学校や家庭での生活状況の中で抱える悩みや困りごとなど（特に家族の方のお世話に関すること）をお聞かせいただき、それらの解決に必要な支援策を検討するために行うものです。

みなさんの回答の一つ一つが参考になるものであり、より良い支援を検討していくためにも、できるだけ多くの方の意見をお聞きしたいと考えています。

ぜひ、調査へのご協力をお願いします。

このアンケート調査は、北海道の委託を受け「委託業者名」が実施しております。

調査方法

調査は、パソコン又は携帯電話をお使いいただき、ネット上でご回答いただきます。

次の URL にアクセス又は QR コードを読み取って、回答ページにお入りいただき、アンケートフォームに直接回答を入力してください。

回答にかかる時間：2分～10分 令和 年 月 日（金）までに入力をお願いします。

URL

QR コード

注意事項

- 1 同じ人が2回以上回答しないよう、十分注意してください。
- 2 本調査は、60分間通信がない（操作がない）場合、自動的にタイムアウトとなり、それまで入力した内容が破棄されます。ご記入にお時間がかかる場合は、一時保存をご利用ください。

※ このアンケートに回答することで、あなた個人が特定されたり、あなたの家族に連絡が入ったりすることはありませので、安心してお答えください。

この調査に関するお知らせ

- ◎調査は無記名で行います。回答は自由です。回答しなくてもあなたに不利益は全くありません。
- ◎回答期限の本年 月 日 () までの期間、いつでも回答することができます。
- ◎答えにくい質問は、答えなくても構いません。無理のない範囲で協力してください。
- ◎集計はデータを統計的に処理して行いますので、個人が特定されることはありません。
- ◎あなたの回答内容を大学が見ることもありません。
- ◎集計結果は道のホームページなどで公表します。調査結果は今後のヤングケアラー支援施策のために生かしてまいります。

「ヤングケアラー」とは、本来大人がすると想定されているような家事や家族の世話などを日常的に行っている子どものことを指します。

<こんな人がヤングケアラーです（イメージ）>



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている



目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている



アルコール・薬物・ギャンブルなどの問題のある家族に対応している



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている



障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている



障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている

(出典 一般社団法人日本ケアラー連盟)

- ◎ヤングケアラーの方には様々な負担があるにも関わらず、社会的に十分理解されているとは言えず、悩みを抱えたまま生活している方も少なくありません。
- ◎道ではこのようなことを踏まえ、ヤングケアラーの方々を支援していくための施策の検討を行うことにしています。

(お問い合わせ先)

① 調査に関すること

北海道保健福祉部子ども未来推進局子ども子育て支援課 児童相談係担当

電話：011-204-5237 メール：hofuku.kodomo1@pref.hokkaido.lg.jp

② アンケート調査サイトの操作等に関すること

委託業者名

問3 (2) -b あなたがしてきた (いる) お世話の内容を教えてください。(あてはまる番号すべてを選択)

1. 家事 (食事の準備や掃除、洗濯)
2. きょうだいの世話や保育所等への送迎など
3. 身体的な介護 (入浴やトイレのお世話など)
4. 外出の付き添い (買い物、散歩など)
5. 病院への付き添い
6. 感情面のサポート (ぐちを聞く、話し相手、遊び相手になるなど)
7. 見守り
8. 通訳 (日本語や手話など)
9. 金銭管理
- 10.薬の管理 (薬を小分けにしたり、渡したりするなど)
- 11.医療的ケア (たんの吸引や経管栄養の管理など)
- 12.家計のサポート (家計を支えるためにアルバイトや労働をするなど)
- 13.その他 ()

★以下は、お世話を必要としていた (いる) 方が複数いる場合も、それぞれの方ごとではなくまとめてお答えください。

問3 (3) あなたがお世話をしていた (いる) 日数を教えてください。(あてはまる番号1つを選択)

- | | | |
|-----------|------------|-----------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週に3～5日 | 3. 週に1～2日 |
| 4. 1か月に数日 | 5. その他 () | |

問3 (4) あなたは、平日 (月曜日から金曜日など学校がある日) にお世話はどれくらいしていました (います) か。だいたいの時間数をお答えください。

- | | | |
|----------------|----------|-----------------|
| 1. 1日 () 時間程度 | 2. わからない | 3. 日によってずいぶんちがう |
|----------------|----------|-----------------|

問3 (5) あなたは、休日にお世話はどれくらいしていました (います) か。だいたいの時間数をお答えください。 ※休日とは (4) の平日以外で学校がお休みの日

- | | | |
|----------------|----------|-----------------|
| 1. 1日 () 時間程度 | 2. わからない | 3. 日によってずいぶんちがう |
|----------------|----------|-----------------|

問3 (6) あなたは、いつからお世話をしていました (います) か。(はっきりとわからない場合は、だいたいで構いません)

() 歳頃から

問3 (7) 問2で「1. 過去 (18歳未満) にケアをしていたことがある」と回答した方にお聞きします。あなたは、いつまでお世話をしていましたか。

() 歳頃まで

問3 (8) あなたは、お世話を必要としていた(いる)家族のことや、お世話の悩みを誰かに相談したことはありますか。(あてはまる番号1つを選択)

1. ある
2. ない ⇒問3 (9) へ

問3 (9) (8)で「2. ない」と回答した方にお聞きします。相談しなかった(しない)理由を教えてください。(あてはまる番号すべてを選択)

1. 誰かに相談するほどの悩みではなかった(ない)
2. 家族外の人に相談するような悩みではなかった(ない)
3. 誰に相談するのがよいかわからなかった(わからない)
4. 相談できる人が身近にいなかった(いない)
5. 家族のことのため、話しにくかった(にくい)
6. 家族のことを知られたくなかった(ない)
7. 家族に対して偏見を持たれたくなかった(ない)
8. 相談しても状況が変わるとは思わなかった(ない)
9. 相談した相手を困らせたくなかった(ない)
- 10.その他 ()

問4 (1) 問2で「1. 過去(18歳未満)にケアをしていたことがある」と回答した方にお聞きします。あなたは、お世話をしていた当時、大学進学に当たりどのようなサポートがありましたか。(あてはまる番号すべてを選択)

1. 自分のいまの状況について話を聞いてくれる人がいた。
2. 家族のお世話について相談にのってくれる人がいた。
3. 家族の病気や障がい、お世話の仕方などについてわかりやすく説明してくれた。
4. 自分が行っているお世話を代わってくれる人がいた。
5. 自分の自由に過ごせる場所があった。
6. 進路や就職など将来の相談に乗ってくれる人がいた。
7. 学校の勉強や学習のサポートをしてくれる人がいた。
8. 家庭への金銭面での支援を受けることができた。
9. 学費への支援・奨学金等を受けることができた。
- 10.その他 ()
- 11.特にない
- 12.わからない

問4(2) 問2で「2.現在もケアをしている」と回答した方にお聞きします。お世話をしていることで、就職に関し不安はありますか？

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. 正社員として就職できるか不安がある | 5. 就職先について考える時間がない |
| 2. 休まず働けるか不安がある | 6. その他 () |
| 3. 通勤できる地域が限られる | 7. わからない |
| 4. 働ける時間帯が限られる | 8. 特にない |

C. ヤングケアラーについて

問5 「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありましたか。(あてはまる番号1つを選択)

1. 聞いたことがあり、内容も知っている
2. 聞いたことはあるが、よく知らない
3. 聞いたことはない

以上で調査は終わりです。ご協力ありがとうございました。